



この映画に出ることが、イカれたスーパースターの間で大流行!

★一井一之の煙草も救え!

ブルー・イン・ザ・フェイス

あの「スモーク」から生まれた、もうひとつの贈り物。

●1995年ベルリン国際映画祭 ●1995年トロント国際映画祭 正式出品作品

ハーヴェイ・カイテル/ルー・リード/マイラ・ソルワイヤー/ジャリット・ハリス/ジャンカルロ・エスポジト/ロサンヌ/ジム・ジャームッシュ

リット・ムン/マイケル・J・フォックス/スルボール/マメナ

原案・監督:ウェイン・ワン&ポール・オースター/製作総指揮:ハーヴェイ・カイテル、ボブ・ワインスタイン&ハーヴェイ・ワインスタイン/音楽総指揮:テイヴィット・バーン

ブルー・イン・ザ・フェイス

A FILM BY WAYNE WANG AND PAUL AUSTER "BLUE IN THE FACE"



1994年、春、監督のウェイン・ワンと小説家のポール・オースターは、映画「スモーク」を撮影するために多彩な顔ぶれのキャストと共にニューヨークのブルックリンに集まった。そして、脚本が完成し、撮影が進んでいくうちに彼らが作り出した種々雑多なキャラクタ

ーが、スクリプトから独立してひとつの人生を生き始めたのに気付く。スクリーンの上では1シーンから2シーンにしか登場しない脇役すらが、細かな癖やふつうなら主役に与えられるようなはっきりとした性格を持つようになったのだ。

あの「スモーク」から生まれた、もうひとつの人間賛歌!!

to talk
about smoking...



映画のキャラクターを制限しなくなかった2人は、型破りで前例のない提案を試みる。『可能なキャストをそのまま使い、主要ロケ地にとどまり、2本めの映画を撮らないか?短い時間の中で低予算で撮影できる映画、「スモーク」製作の中で触発されたけれど映画の中に登場させることのできなかったあらゆる素晴らしい人々、プロット、アイデアをすべ

て盛り込むことのできる映画を作らないか?』こうして、緻密な構成のスクリプトに基づいて撮られた「スモーク」とは対称的な、殆ど準備なしの、出演者の即興演技を十分に活かした画期的映画「ブルー・イン・ザ・フェイス」の撮影が開始された。

ブルックリン、オーギー・レンの煙草屋…同じ街、同じ場所…

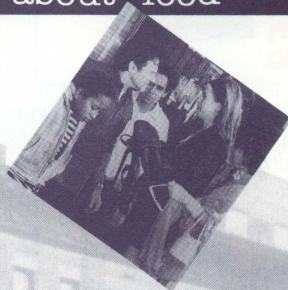
ブルックリンの人々の様々な人情劇が繰り広げられたオーギー・レンの煙草屋。あるものは悲しみを癒し、あるものは喜びを分かちあい…。思い出のたくさん詰ったこの店が、なくなってしまうかもしれないという。

そこで、この最愛の店を救うべく、ニューヨークの妙な人々が続々と集まってくる。ミュージシャン、ダンサー、ラッパー、ワッフル男、ひったくりの少年、写真家…。この煙草屋は、店内に漂うスモーク=煙と共に異様

な活気に満ち溢れていく。

『顔色が真っ青 (ブルー・イン・ザ・フェイス)』になるまでセリフをしゃべらせるといふ案からつけられたタイトル通り、10分きっかりの各テイクで一旦フィルムが回り始めると、出演者達は素晴らしい演技とセリフを披露した。さらに、マスコミによってこの撮影の噂が広められ、突如として、この映画に“参加”することが映画俳優たちの間の流行となってしまうのだ。

about food



オーギー・レンの煙草屋がなくなってしまう!?

about shopping

その結果、この映画に参加したキャストは、ハーヴェイ・カイテル、マドンナ、マイケル・J・フォックス、リリー・トムリンといった大スターから、ニューヨーク、ブルックリン

という空気がぴったりのルー・リード、ジム・ジャームッシュ、ジョン・ルーラーといったカウンター・カルチャーの重鎮たちなど多彩で豪華な顔揃えとなった。

ところで「ブルー・イン・ザ・フェイス」って何?

『ルル・オン・ザ・ブリッジ』公開記念～ポール・オースター特集～

①12/12(土)～18(金) PM8:00 『ブルー・イン・ザ・フェイス』
②12/19(土)～25(金) PM8:45 『スモーク』 素敵なクリスマス・ストーリー

12月中旬より
お正月第1弾ロードショー

『ルル・オン・ザ・ブリッジ』(土日祝10:20)12:25/2:30/4:35/6:40~8:35
※各回入替制。※12/31、1/1は休映。年末年始の上映時間は変更の場合もあり。
前売鑑賞券¥1500絶賛発売中! (当日一般1800円)

about sex

心斎橋アメリカ村 BIGSTEP 4F
パラダイスシネマ
06(282)1460